

令和元年度空気調和・衛生工学会大会（札幌） 技術展示会出展報告

Report of The Technological Exhibition which in The Society of Heating, Air-Conditioning and Sanitary Engineers of Japan Convention (Sapporo) 2019

呉 光正*¹
Guangzheng Wu

1. はじめに

2019年9月に、令和元年度空気調和・衛生工学会大会が北海道科学大学で開催された。

同学会大会では、学術面・技術面の更なる充実を図る一環として、平成16年度より、広く会員企業や大学等の研究室の技術を展示する技術展示会を毎年開催している。この技術展示会は、研究者や技術者の密度の濃い技術交流の場、各種システムや機器の紹介の場、研究室等の紹介の場として活用されている¹⁾。関東学院大学大沢記念建築設備工学研究所（以下、本研究所という）は、令和元年の第16回技術展示会に出展した。本報では、その概要を報告する。

2. 開催概要

2.1 大会

大会は2019年9月18日（水）～20日（金）の3日間、北海道札幌市の北海道科学大学にて開催された。会場には同大学前田キャンパスのE棟（中央棟）、G棟（講義棟）。会場写真を写真1、写真2に示す。令和元年大会の講演論文は一般講演719編、オーガナイズドセッション24編であり、12の会場で講演が行われた。大会ではそのほか、開会式、公開講演会、技術展示会、技術展示プレゼンテーション、International Session、学会賞・特別賞の受賞講演、オーガナイズドセッション、ワークショップ、委員会中間報告、スチューデントフォーラムなどが実施され、3日間の参加者総数は1424名と過去最大の盛況な催しであった²⁾。

2.2 技術展示会

技術展示会は大会初日の午後から最終日の午前までの期間に開催され、会場は大会会場（E棟）の3階と4階ロビーであり、エレベーターから各会場へとつながる通路に設けられていた。

大会から募集された展示内容は、大学が研究活動・研究成果の紹介、出版物の紹介等、企業が実機、技術紹介パネル、解析事例、パンフレット等である。



写真1 大会立て看板



写真2 大学入口

*¹ 所員 建築・環境学科

Dept. of Architecture and Environmental Design,
Kanto Gakuin Univ.

令和元年の技術展示会には、大学から15研究室、企業・団体から15の件の参加があった（表1）。

表1 参加大学、企業・団体一覧

大学	1. 東京大学 赤司研究室
	2. 立命館大学 建築環境・設備研究室 / 居住環境研究室
	3. 東京大学 大岡・菊本研究室
	4. 早稲田大学 田辺新一研究室
	5. 工学院大学 野部研究室
	6. 関東学院大学 大沢記念建築設備工学研究所
	7. 工学院大学 柳研究室
	8. 名古屋大学
	9. 大阪大学 山中研究室
	10. 北海道大学
	11. 神奈川大学
	12. 慶応義塾大学
	13. 大阪大学 下田研究室
	14. 芝浦工業大学
	15. 北海道科学大学
企業・団体	1. スパイラックス・サーコリミテッド
	2. 協立エアテック山田段ボール
	3. 株式会社テクノ菱和
	4. オーエヌ工業株式会社
	5. ダイダン株式会社
	6. アラヤ
	7. NPO 法人 建築設備コミッションング協会
	8. 中部電力株式会社
	9. 日本カノマックス株式会社
	10. ENV サインストレーディング
	11. ebm-papst Japan
	12. ゼネラルヒートポンプ工業株式会社
	13. 岩崎通信機株式会社
	14. トルネックス
	15. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

3. 展示概要

本研究所では、A1サイズのパネル9枚を展示した。その内容については、本研究所の紹介1枚、本研究所で空気調和・衛生設備に関連する研究を行っている所員7名（大塚雅之所長、遠藤智行所員、山口温所員、李祥準所員、中村所員、新明加奈子所員、呉光正所員）の研究内容が各1枚、2014年6月に関東学院大学金沢八景キャンパスに竣工した建築・環境棟（5号館）の紹介が1枚である（写真3）。

本研究所の展示ブースでは、大会に参加した大塚研究室の学生が説明にあたり、企業の方や他大学の学生からの質問に対応していた。特に、本研究所の展示場所は、特別講演室E401の出入口側に設置されており、大会の参加者の多くが興味を持って閲覧・質問していた（写真4）。



写真4 展示の様子

4. おわりに

令和元年度空気調和・衛生工学会大会は、参加者数が多く、盛大な大会であった。同学会大会で開催された技術展示会は、日本全国から集まって来た研究者たちへ本研究所を紹介できる大変貴重な機会である。今後は、この技術展示会を始めとした様々な機会を利用して、本研究所の研究内容を発信していく予定である。

参考文献

- 1) 公益社団法人空気調和・衛生工学会, <http://www.shasej.org/index.html>
- 2) 空気調和衛生工学 第94巻 第1号, 令和元年度大会概要報告, 2020.1



写真3 展示パネル